

テレビ「夢の扉」で紹介されたスーパーイワダレソウ



**安心品質** 在来種を改良し品種登録済

**高速被覆** 芝の10倍で緻密に地表を覆う

**エコロジー** 環境対応・景観改善に貢献

**コスト削減** 手間が少なく管理費節約

**2008年日経優秀製品・サービス賞 優秀賞**



株式会社グリーンプロデュース

## 植栽説明

①植栽地の土壌確認	真砂土、粘土、砂地の場合は土壌改良が必要な場合があります。
②植栽前準備	除草作業、土壌耕転、施肥などを行ってください。
③植え方	植栽前にクラピアに水を与えてください。 植穴を掘りクラピアを植えてしっかり踏みつけてください。 植栽後、土とクラピアに十分に水をかけてください。

## 植栽後の管理方法

①水やり	植栽後10日～2週間は水やりをしてください。
②除草	初年度はクラピアが完全被覆するまで雑草抜き、機械による刈払いを行ってください。 クラピアが被覆すると雑草は生えにくくなります。
③病気の場合の薬剤散布	暖かくて湿潤な時期には病気がでやすくなります。適切な薬剤処置を行ってください。 適切な処理をすれば、枯れた所も周りからすぐに覆って被覆します。

## 防草シートを用いた施工



宿根草や雑草種子飛来の多い所ではクラピア専用通根性防草シートを併用しますと、長期間に渡り、より省管理が実現できます。  
このシートはクラピアの根を通し、下からの雑草の発生を抑制します。



## 登録関連

商品名	クラピア (商標登録済み)	学名	<i>Lippia nodiflora</i> L.
原産地	栃木県宇都宮市峰町350 宇都宮大学雑草科学研究センター		
育成者権者	倉持仁志	種苗登録	品種登録番号 第15871、第16143、他出願中

## 商品規格

※畦畔用はS1に限定

種類	S1 (白花)	S2 (ピンク花)	G3 (白花)
	在来種 × 在来種	在来種 × ヒメイワダレソウ	在来種 × ヒメイワダレソウ 北海道を除く寒冷地推奨品

規格	寸法	梱包 (1箱あたり)
ミニ苗	28cm × 58cmに72株入り	144株 分解性ポット
ポット苗	直径9cmポリポット	40ポット
ターフ苗	30cm × 37cm	標準9枚 ※お問合せください

納期についてはお問合せください。  
クラピア ミニ苗、ポット苗は出荷時被覆率70%以上を標準としています

## 関連商品

- ①屋上緑化用ボックス 600mm×600mm×100mm  
簡単施工 耐根シート、防水処理不要  
ボックス下の足が空気層を作り断熱効果、防根効果あり  
ボックス単位で移動可能、防水改修工事時のコスト削減
- ②通根タイプ防草シート 厚1.1mm × 幅0.9m/1.2m/1.5m/1.8m × 長25m
- ③HpHロックウール防草シート 厚3mm × 幅0.7m × 長40m pH8以上で雑草抑制
- ④生分解性防草シート 厚20μ × 幅1.35m × 長200m
- ⑤有機石灰天然貝化石 表土に用いれば高pHで雑草抑制、クラピアは問題なく生育  
20kg×5袋が最低単位
- ⑥Drキンコン キンコン菌の働きでクラピアの根の生育をより活発にします  
2リットル/袋
- ⑦肥料杭 直径9cm。肥料成分10% 法面植栽に効果的



◎クラピアは改正種苗法による登録品種です。  
茎、葉、根を無断で栽培、増殖、譲渡、販売、輸出入等しますと種苗法に違反しますのでご注意ください。

株式会社グリーンプロデュース  
〒323-0069  
栃木県小山市上初田愛宕前636  
TEL 0285-37-1613 FAX 0285-37-1801  
URL <http://www.greenproduce.co.jp>  
MAIL [info@mx.greenproduce.co.jp](mailto:info@mx.greenproduce.co.jp)

問合せ先



クラピアS1



クラピアS2

# エコロジー Ecology

# 省管理 Low cost



クラピア開発者の宇都宮大学倉持講師

## 在来種 Native Species

雑草研究における日本の第一人者 宇都宮大学の倉持仁志講師が、10年の歳月をかけて生み出したクラピアは、日本で唯一の品種登録が完了したイワダレソウです。

中でも、クラピアS1は日本国内のイワダレソウ在来種同士を交配・選抜により改良し能力を高めました。

※ヒメイワダレソウは外来種です

## 現生態系の保護

種をつけないため、現生態系に影響を与えません。

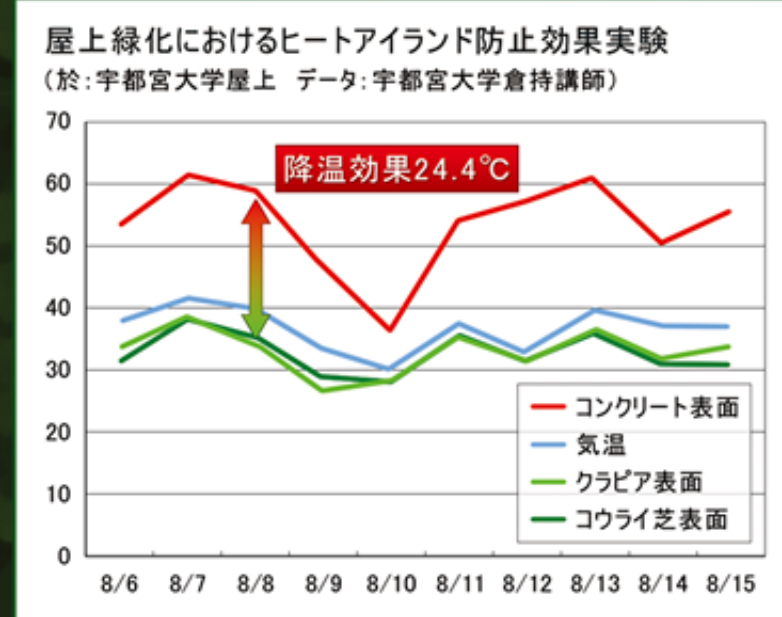
多年草で、冬は活動をやめ茶色に変色しますが、翌春も芽吹いて可憐な花を咲かせます。

## ヒートアイランド抑止効果

クラピアは、呼吸時に葉の気孔から水分を放出します。この水分が蒸発するときに周りの熱を奪い、葉の表面付近の温度を下げます。

クラピアは気温50℃の砂漠でも旺盛な生育をするので、真夏の過酷な環境条件となる屋上でも生育し、ヒートアイランド現象の抑止効果を発揮します。

クラピア表面温度測定

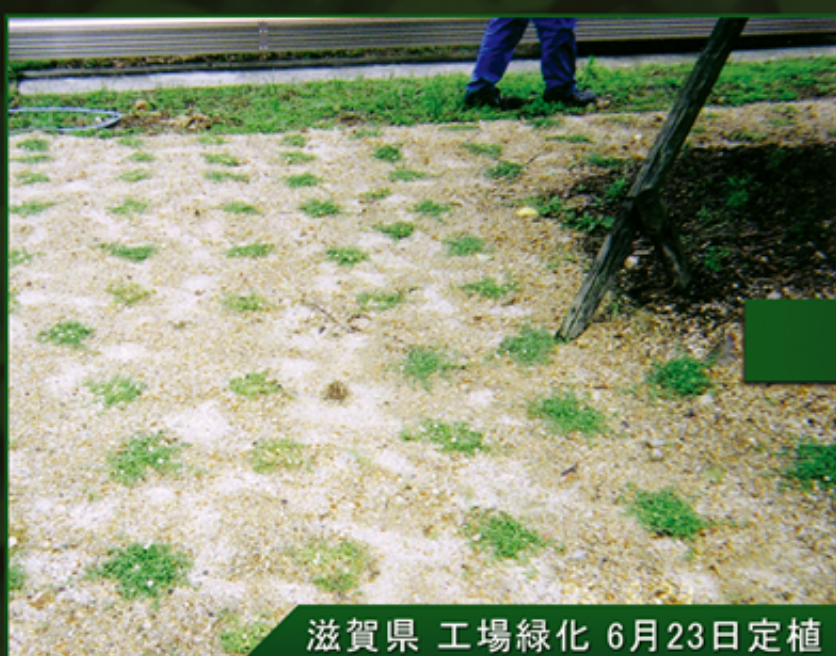


## 超高速被覆 High Speed ground cover

増殖速度は芝の10倍以上で、短期間に緻密に地表を覆います。

間欠植栽でも短期間で全面被覆します。

病気で一時的に枯れたり、踏まれて擦り切れても、成長力が早いので短期間で周りから被覆します。



滋賀県 工場緑化 6月23日定植



8月11日 7週間で被覆完了

## 土壌流出防止効果

クラピアは土質により深度1m以上根を張り土をがっちりつかまえます。

宇都宮大学倉持講師が2000年に琉球大学で行った実験では、クラピアが100%被覆した状態において、74mm/hの降雨量時、裸地で観測された土壌流出量に対して僅か0.5%の流出量に留まることが確認されました。

美しいサンゴ礁が流出土壌をかぶって命の危機に瀕するのを防ぐ効果が期待されています。



裸地: 多量の土を含み水が土色にごっている

クラピア区: 水が透明!! 土が流れてこない

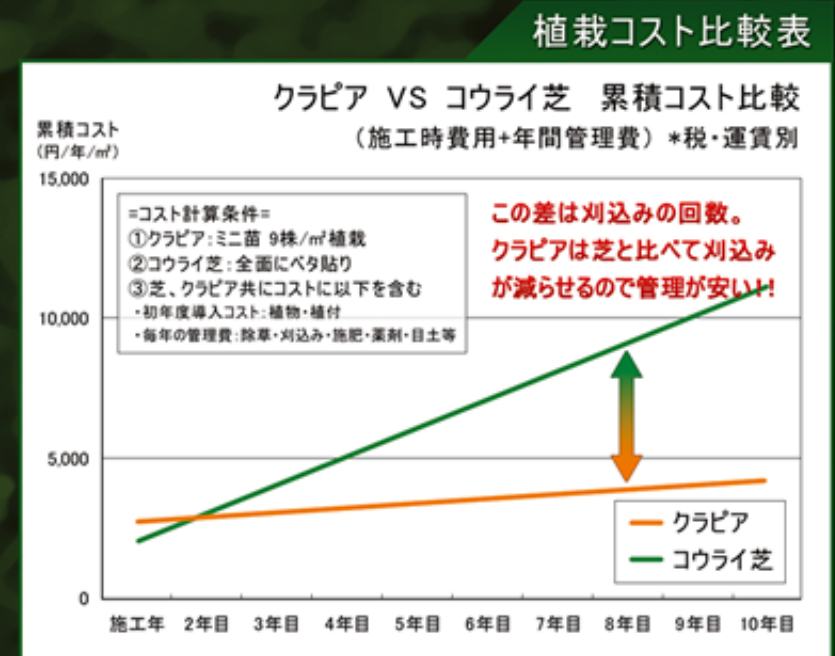
写真提供: 宇都宮大学倉持講師

クラピアは横に這うように伸び、上に立ち上りにくい性質(匍匐性)があり、地表を緻密に繁茂被覆します。

刈りこみ作業が低減できます。

雑草の侵入を防ぐ防草効果があり、除草作業を削減できます。

他のグランドカバー植物に比べて、緑地と景観の維持管理費をコストセーブできます。



比較に使用したコウライ芝の材料価格、植付費、除草、刈込み等の管理費及び年間管理工数は発行済み物価本情報に基づきます。

## 施工事例



河川堤防緑化 和歌山県



熊本県 道路緑化



屋上緑化 東京都



栃木県 水田畦畔緑化